



R.I. D.2740 JAPAN  
佐世保ロータリークラブ

会 長: 松尾 文隆 幹 事: 安福 竜介  
事務所: 佐世保市島瀬町10-12 十八親和銀行 佐世保本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323  
例会場: レオプラザホテル佐世保(毎週水曜日) TEL 0956-22-4141  
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail: src@circus.ocn.ne.jp

令和 7 年 11 月 26 日

第 3,598 回例会

NO 20

《本日》会員数 83 名(出席規定免除 21 名)・出席 43 名・欠席 40 名・(内免除者欠席 14 名)・ビジター 0 名・出席率 51.80 %  
ゲスト 1 名  
《11月12日》会員数 83 名(出席規定免除 21 名)・出席 55 名・欠席 28 名・(内免除者欠席 11 名)・メイクアップ 5 名・修正出席率 83.33 %

## 会 長 挨 拶

副会長 筒井 和彦

会員の皆様におかれましては、会社経営において設備投資を実行するか否かという点は、重大な関心事項のひとつであろうかと拝察いたします。



これに関連しまして、経産省の今後の税制改正要望で、かなり大きな提案がなされております。

具体的には

- ①投資額の内、一定割合を税額控除する(＝法人税から差引く)
  - ②投資額全額を即時償却する(＝全額を損金計上する)
  - ③生産設備やソフトウェアだけでなく、工場の建屋なども対象とする
- といった内容であります。

現時点では12月の税制改正大綱での答申待ちですが、仮にそのままの形で受け入れられれば、企業の設備投資に相当なインパクトを及ぼすのではないとも言われています。

以上、職業柄もあり、少しお留め置きいただけたらと思い、ご紹介しました。

## 例 会 記 録

○ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」

## 幹 事 報 告

幹事 安福 竜介

### 1. 長崎県共同募金会佐世保市支会

支会長 宮島 大典 様

赤い羽根共同募金のお礼

### 2. 海上自衛隊佐世保地方總監

海将 福田 達也 様

令和7年度自衛隊記念日行事のお礼

### 3. ハウステンボス佐世保RC

実行委員長 中川 英俊 さん

会長 川崎 伸一 さん

ハウステンボス佐世保RC創立30周年記念式典・祝賀会のお礼

## 慶 祝

出席委員会 今吉 俊博

### ○永年会員表彰

安部 直樹 さん (47年)

親睦活動委員会 宮川 誠

### ○結婚記念月のお祝い

川口 直人・睦美 さん ご夫妻 (3日)

橘高 克和・さなえ さん ご夫妻 (6日)

円田 浩司・桂子 さん ご夫妻 (7日)

長富 正博・桂子 さん ご夫妻 (7日)

増本 一也・光子 さん ご夫妻 (7日)

松尾 貴・真理 さん ご夫妻 (11日)

橘高 秀和・奈緒美 さん ご夫妻 (22日)

福田 金吾・芙美恵 さん ご夫妻 (23日)  
松尾 文隆・由美 さん ご夫妻 (23日)



## ニコニコボックス

親睦活動委員会 山縣 千穂

松尾 文隆 会長、筒井 和彦 副会長  
安福 竜介 幹事、内海 暢邦 副幹事  
福田 金治 さん、福田 金吾 さん  
安部 雅隆 さん、本岡 眞 さん  
増本 一也 さん、長島 正 さん  
大久保利博 さん、梅村尚一郎 さん  
船越 温 さん、坂本 崇 さん  
梅村 良輔 さん、池田 真秀 さん  
山下 忠則 さん、大神 邦明 さん

社会福祉法人若竹寮児童養護施設若竹の家、児童指導員永吉史典様の卓話に期待してニコニコします。

### 長島正太郎 さん

先日行われました朗遊会にて優勝させていただきましたのでニコニコさせていただきます。

### 松尾 慶一 さん、米倉洋一郎 さん

朗遊会にて入賞しましたのでニコニコします。

### 安部 直樹 さん

永年会員表彰 (47年) ありがとうございます。

川口 直人 さん、円田 浩司 さん  
増本 一也 さん、福田 金吾 さん

結婚記念月のお祝いありがとうございます。

ニコニコボックス	前回累計	878,000円
	本日合計	29,000円
	累計	907,000円

## 卓 話

「児童養護施設とはどのようなところか？」  
～児童養護施設若竹の家における養育・支援～

社会福祉法人若竹寮 児童養護施設若竹の家  
児童指導員 永吉 史典 様

昭和21(1946)年に設立された当施設は、戦後の困難な時代から長年にわたり地域の子どもたちを支えてきました。昭和48(1973)年に現在の柚木町へ移転し、地域の皆様の温かい支えを受けながら歩み続けています。

平成26(2014)年に佐世保市より民間移譲され「児童養護施設若竹の家」となり、現在、約45名の子どもたちが本体施設5棟と地域小規模児童養護施設2棟に分かれて生活しています。令和3(2021)年度からは一時保護専用施設も併設し、約40名の職員が生活・学習・心理面の支援に取り組んでいます。広大な自然に囲まれた環境で、子どもたちが安心して過ごせるよう、日々の暮らしを支えています。

近年、児童相談所への虐待相談件数は全国で年間22万件を超え、長崎県でも増加傾向です。現在、「社会的養育」という考え方が広がっており、子育てを家庭だけに任せず、社会全体で担い、児童福祉法や国際条約に基づき「子どもの最善の利益」を保障するものです。できる限り“家庭で養育”できるよう、地域の特性に応じた支援体制

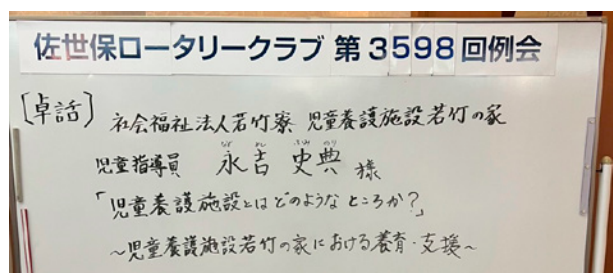




の構築や、施設入所や里親委託を“未然に防ぐ”取り組みが進められています。児童養護施設に入所する子どもたちの約7割は虐待経験を持ち、4割以上が障害を抱えています。こうした子どもたちにとって、安心できる生活環境と信頼できる大人との関係は何より大切です。

私とある兄弟の思い出をご紹介します。乗り物好きな二人は、「西九州新幹線が令和4(2022)年に開業する」というニュースに夢中になり、私に「一緒に乗りたい!」とお願いしました。私は「開通したら必ず乗りに行こう」と指切りげんまん。その日から月日は流れ、待ちに待った約束の日、兄弟は自分で描いた「かもめ」の絵を持って、武雄温泉～長崎間を往復乗車しました。絵と本物の車両を並べて写真を撮った瞬間、子どもたちの笑顔は輝き、職員も胸が熱くなりました。この体験は、ただの外出ではなく、信頼と希望を育む大切な一步だったと記憶しています。

私たちの使命は、子どもたちが「自分は大切にされている」と感じられる環境をつくることです。安全で清潔な生活、温かい食事、学びの機会、そして夢を語れる時間。その積み重ねが未来への力になります。施設は単なる養育の場にとどまらず、家族再統合支援、自立支援、アフターケア、地域子育て支援など多機能化が求められています。長崎県では「第2期社会的養育推進計画」を策定し、里親委託や小規模施設化を進めています。ぜひ皆様もこの分野に関心を寄せ、地域で子どもたちを支える輪を私たちと共に広げていただければ幸いです。



#### \* 今後の例会予定 \*

12月 3日 年次総会

新会員卓話 藤井 鉄平 さん

#### \* 西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定 \*

未定

#### \* 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 \*

未定

\* 西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、メイクアップにもなりますのでご活用ください。

\* RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当：船越 温 カメラ担当：長島正太郎)

### クラブ会報・広報委員会

委員長：梅村尚一郎  
副委員長：指山 立

委員：谷川辰巳・船越 温・本岡 眞  
安達幸太・長島正太郎